

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H30.11.4 9:52~11:56)

会場(畑野町公民館)

テーマ(人口減少と高齢世帯が増加する中、畑野町を元気づける方策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	西部地域における消防署分室の設置は、今回の非常時で、改めて必要であると感じた。西部地域の切実な思いであることを、議会も共通認識してほしい。理事者からは、統一要望を出すように言われている。	亀岡市も少子高齢化の影響で、広域行政を進めようとしている。火葬場、公共交通、文化施設やごみ処理など様々な議論を行い、消防分署は運営経費の負担率などの課題もあるが、前向きに進めて行こうとしているので、議会も確認していく。	総務文教	○		
2	7月の台風襲来時に、亀岡市は初めてエリアメールを発信した。1回出しただけでなく、同じ情報を能勢町のように5分毎に出すことや、もう少し早い段階で避難準備情報を発信してはどうかと考える。	7月の災害時に大阪から帰ってくる時、能勢町のエリアメールの情報が入ってきて、通行止め情報など必要な情報が活用できた。避難準備情報について、発信していけるように考えていきたい。	総務文教		○	
3	情報伝達として、行政が高齢者にスマートフォンを助成してはどうかと考える。今、高齢者向けのスマートフォンも出ている。行方不明時の捜索や健康管理、天気などの情報も調べられ、市民福祉の増進にもつながる。財政負担が伴うが、議会としてどう考えているのか。	6月の地震時、電話は不通であったがSNSは使用できた。今、孫とやり取りをするためスマートフォンを持つ高齢者もいる。助成するものも施策かもしれないが、亀岡市が発信するフェイスブックなど、今あるものを活用してはどうかと思う。また、先進事例を検証していきたいと思う。	環境厚生	○		
4	避難勧告が出てから、災害時支援者のところに民生委員が安否確認に行くのは、二次災害の危険もある。独自の名簿で事前に行っている。当日、亀岡市が災害時支援者名簿を持って来られても全く機能していない現状を議会は把握しているのか。	ある地域では台風襲来時に民生委員が、地域を回り、早めの避難を促した。名簿の開示条件については議会も確認しないといけない。民生委員も大変だが、自主防災会の実際に即した訓練や活動の見直しも必要であると思う。	総務文教	○		
			環境厚生		○	
5	避難勧告が出ると住民から、どう行動したらよいか、危険かどうか見に来てほしいとの問合せの電話があり、全く危機意識がない。自ら判断して行動するようアドバイスするが、住民に危機意識を持ってもらえるように、行政から啓発してほしい。それを議会から働きかけてもらいたい。	自助は大事なことであり、危機意識を持ってもらえるように発信していきたい。民生委員と区長が連携し事前に避難計画を立てることが大事である。行政・自治会・民生委員・消防団などが細部まで対応するのは限界があり、できることは地元で対応しなければならない。災害時には、行政は電話対応などで混乱しているので、対応のマニュアルを作るよう提案した。また、組・区単位で住民を把握し、共助することが重要である。	総務文教	○		
6	以前、民生委員の補助について話も出たが、課題としては、業務が大変で、なり手がないのではないかという意見や、プライバシーの守秘義務についての意見もあった。	京都市では民生委員に対して、2人の老人福祉委員がいるという制度がある。高齢者に特化しているが、自治会や地域包括支援センターが集約して見ていくという方法もある。畑野町にも当てはまるのではないかと思う。行政と協議し、守秘義務を条例化する検討が必要である。	環境厚生	○		
7	災害が発生した後、皆で協力しようと高橋3区では、4つの開発団地がまとまり組織化ができたと思う。災害時の行動計画は、行政が大枠をつくり、地域の特性に合わせたアドバイスがほしい。	良い意見をいただいた。いろいろなパターンがあると思うが、市には一定のマニュアルがあつていないような形である。今日いただいたご意見をまとめて、執行部に早急に作るように要望していきたい。地域ごとの取組みも大事だと思う。	総務文教		○	
8	防災の啓発については、地域ごとに行政の専門家に来ていただき防災講演会や啓発等を展開するのも良いと思うが、どのように考えているのか。	自治会長から要望していただければできると思う。10月の災害についての勉強会を自治防災課に依頼し、区単位ではなく、15人くらいが集まって出前講座を開催された事例もある。	総務文教	○		
9	被災の対応について、非常事態だったため、行政も懸命に動いていただいたが、市民としては、京都府は迅速な対応をし、亀岡市は被災箇所も多いこともあるが行動が鈍く感じた。横の連携で業務を円滑に行わないと、報告しても連絡が返ってこず、行政不信につながる。議会から行政にアドバイスをしてもらえないか。	市内の方から、行政への指摘や不満は聞くが、行政も大変な状況であったので、一定の理解が必要であると思う。誠意を持って対応するように議会から要望していく。市長も含め、復旧に関する予算要望もしてきた。激甚災害として扱われなかった箇所について、議会から京都府に要望し、対応していただいた。崩落箇所についても要望していきたい。	総務文教	○		

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H30.11.4 9:52~11:56)

会場(畑野町公民館)

テーマ(人口減少と高齢世帯が増加する中、畑野町を元気づける方策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
10	災害の復旧には時間がかかると思う。7月豪雨後、台風の襲来で再査定となった。今度どう復旧するのか位置づけをしていかないと、再び災害に遭い、一からの復旧となることを危惧する。被災した箇所はどうするのか、今後の予定を回答してほしい。	現状を把握し、わがまちトークでの内容は、きめ細かな部分を取りまとめ、行政に伝えていく。	総務文教	○		
11	農業被害について、9月8日の水害で千ヶ畑地域の農地、農業用水路に土砂が詰まり、来春の作付けを心配する。雨が降ると田んぼに浸水してしまうので、早急に河川改修をお願いしたい。今後の予定もあるので改修計画も示してほしい。		産業建設	○		
12	河川の曲がり角に石が溜まり、堤防の高さまで達している箇所もあるので、早急に除去してほしい。現状復旧が原則だが、大雨の時は許容範囲を超えるので、抜本的に改修を要望してほしい。		産業建設		○	
13	京都府の農業支援施策について、亀岡市が窓口であるのに、聞いてもらちがあかないので、直接京都府に聞かなければならないケースが多い。亀岡市から京都府に話をしてもらえるようにお願いしたい。		産業建設		○	
14	国で災害対策の施策がいろいろと出されている。亀岡市も国、府の補助で、農業者の支援ができないのか。畑野町の農業は災害に関わらず、鳥獣被害や高齢化で先行きが不安な実態もある。	現状を把握し、わがまちトークでの内容は、きめ細かな部分を取りまとめ、行政に伝えていく。	産業建設		○	
15	亀岡市の財政状況はどうなっているのか。		総務文教	○		
16	災害時に、一軒一軒避難を促したが、寝たきりの人がたくさんおられた。区長の電話番号を聞いたら個人情報なので教えられないという事例もあった。個人情報保護が行き過ぎていると思うが、どのように考えているのか。		総務文教	○		
17	千ヶ畑区の土砂崩れは、3カ月経っても放置されたままであり、地質調査をしているとのことだった。歩道を占領しているので、車に子どもがひかれそうになったと言われた。もっと早く処理できるように、亀岡市から京都府に要望してほしい。	現状として、地質調査が終わり業者入札している段階であり、でき次第、工事着手となる。国道423号の全面復旧には国の査定が必要で、それが終わり次第発注となる。あらゆる所で災害が発生しているが、できるだけ早く復旧できるように要望していく	産業建設	○		